

資料

1 検討体制と経過

調査にあたり、「地域の相談ニーズに関する調査検討会」を設置し、そこでの検討にかけつつ分析を進めた。調査検討会の構成と開催経過は次の通りである。

検討会の構成

＜委員＞	桜井 陽子	横浜市男女共同参画推進協議会 理事・統括本部長
	白倉 憲二	帝京大学文学部心理学科 教授
	袖井 孝子	お茶の水女子大学 名誉教授（座長）
	土埴内昭雄	株式会社ニッセイ基礎研究所 主任研究員
	湯澤 直美	立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科 教授
＜事務局＞	松川 淳子	(株)生活構造研究所 取締役特別顧問
	半田 幸子	(株)生活構造研究所 代表取締役研究主幹
	佐藤いづみ	(株)生活構造研究所 主任研究員
	青木裕美子	(株)生活構造研究所 研究員
	田村 伴子	(株)生活構造研究所 研究員
	藤木 千草	(株)生活構造研究所 客員研究員

検討会の開催経過

日時	検討テーマ
【第1回】 平成21年 9月1日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・調査の趣旨 ・地域における相談ニーズに関する調査 調査計画 ・地域における相談ニーズに関する現状 ・一般女性が抱える問題と解決行動をめぐる状況把握、理解に関する調査 ・顕在化しづらい相談ニーズの問題と解決行動をめぐる状況把握、理解に関する調査
【第2回】 平成21年 9月15日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・調査の前提、調査の全体像 ・男女が抱える問題と解決行動をめぐる状況把握等に関する調査(WEB調査) ・顕在化しづらい相談ニーズの問題と解決行動をめぐる状況把握等に関する調査(支援者調査)
【第3回】 平成21年 10月7日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・WEB調査/パイロット調査の結果 ・グループインタビューの計画 ・支援者調査の対象と調査内容
【第4回】 平成21年 12月2日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・WEB調査の結果 ・グループインタビュー(先行調査)の結果 ・支援者調査の経過について(一部集計結果)
【第5回】 平成22年 1月14日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・WEB調査クロス集計結果 ・支援者調査(地域での生活課題と相談に関する調査)の結果 ・グループインタビューの結果 ・報告書の骨子案
【第6回】 平成22年 1月29日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書(案)について

2 WEB調査 調査票

内閣府 悩みごとと解決についての調査

あなたのことをお伺いします

Q1 あなたの性別は次のうちどれですか。(1つに)

(N=3,002)

1. 女性 66.7% 2. 男性 33.3%

Q2 あなたの年齢はおいくつですか。

(N=3,002)

(平均 44.71) 歳 数字を記入

Q3 あなたのお住まいはどちらですか。

() 市・区・町・村 ご記入の上市区町村1つに

Q4 あなたは、現在お仕事をされていますか。(1つに)

(N=3,002)

1. 勤め人(常勤)	36.7%
2. 勤め人(非常勤、パートタイム、アルバイトなど)	16.0%
3. 自営業(事業の経営者、家業の手伝い、内職など)	10.4%
4. その他の仕事(具体的に)	2.5%
5. 学生	2.8%
6. 求職中	3.5%
7. 無職(学生、求職中を除く)	28.1%

Q5 あなたのご家族は、次のように分類した場合どれにあたりますか。(1つに)

(N=3,002)

1. 夫婦のみの世帯	23.2%
2. 夫婦と子どもの世帯	40.5%
3. ひとり親と子どもの世帯	5.4%
4. 夫婦とその親の世帯	3.1%
5. 夫婦と子どもと親の世帯	7.5%
6. その他の親族世帯(二人以上の世帯で世帯主と親族関係にある人がいる)	6.3%
7. 非親族世帯(二人以上の世帯で世帯主と親族関係にある人がいない)	0.9%
8. 単身	13.1%

Q6 あなたは、現在、結婚していますか（届出の有無に関係なくお答えください）。（1つに）

(N=3,002)

1. 配偶者あり	Q6-1へ	66.7%
2. 離別	Q7へ	5.6%
3. 死別	Q7へ	1.7%
4. 未婚	Q7へ	25.9%

Q6-1 Q6で「1」と答えた人に。

あなた方の働き方は次のうちどれですか。（1つに）

(n=2,003)

1. どちらか一方だけが働いている	47.9%
2. 共働きである	41.0%
3. どちらとも働いていない	10.1%
4. その他（具体的に）	1.0%

Q7 あなたにお子さんはいますか。（1つに）

(N=3,002)

1. いる（妊娠中も含む）	Q7-1へ	58.4%
2. いない	Q8へ	41.6%

Q7-1 Q7で「1」と答えた人に。

お子さんは何人いらっしゃいますか。妊娠中の方も1人と数えてください。同居、別居は問いません。（1つに）

(n=1,754)

1. 1人	25.8%	4. 4人	2.3%
2. 2人	52.6%	5. 5人以上	0.6%
3. 3人	18.7%		

Q7-2 Q7で「1」と答えた人に。

末子のお子さんは、次のどこに該当しますか。（1つに）

(n=1,754)

1. 妊娠中	3.0%	6. 中学卒業以上20歳未満	10.1%
2. 1歳未満	4.2%	7. 20代	26.6%
3. 1歳以上未就学児	15.3%	8. 30代	22.9%
4. 小学生	11.2%	9. 40代	1.4%
5. 中学生	5.2%	10. 50代以上	0.0%

Q8 ご家族との同居、近居についておたずねします。近居は30分程度（交通手段は問いません）で行き来できる範囲とします。（それぞれあてはまるものすべてに ）

(1) 同居の家族についてお伺いします。（いくつでも ）

(N=3,002)

1. 配偶者（パートナー含む）	57.8%
2. 自分の父、母	26.7%
3. 配偶者の父、母	9.0%
4. 子ども	40.3%
5. 自分・配偶者のきょうだい	10.7%
6. 自分・配偶者の父、母、きょうだい以外の家族	3.6%
7. 同居の家族はいない	16.2%

(2) 近居の家族（いくつでも ）

(N=3,002)

1. 配偶者（パートナー含む）	0.9%
2. 自分の父、母	23.9%
3. 配偶者の父、母	17.3%
4. 子ども	13.3%
5. 自分・配偶者のきょうだい	22.7%
6. 自分・配偶者の父、母、きょうだい以外の家族	6.9%
7. 近居の家族はいない	45.0%

Q9 あなたのご家族に、介護、看護、介助が必要な方はいますか。（それぞれ1つに ）

(1) あなたご自身について（1つに ）

(N=3,002)

1. ご自身が介護、看護、介助を必要としている	1.7%
2. ご自身は介護、看護、介助を必要としていない	98.3%

(2) ご家族について（1つに ）

(N=3,002)

1. 介護、看護、介助が必要な家族と同居している	6.2%
2. 介護、看護、介助が必要な家族がいるが同居はしていない	26.0%
3. いない	67.8%

Q10 最近1年間のあなたご自身の収入、ならびに世帯の収入についておたずねします。

(それぞれ1つに)

(1) ご自身の年収(1つに)

(N=3,002)

1. 100万円未満	38.0%	7. 600万円~700万円未満	3.4%
2. 100万円~200万円未満	12.8%	8. 700万円~800万円未満	3.5%
3. 200万円~300万円未満	12.9%	9. 800万円~900万円未満	1.8%
4. 300万円~400万円未満	10.9%	10. 900万円~1000万円未満	1.2%
5. 400万円~500万円未満	8.0%	11. 1000万円~1500万円未満	1.9%
6. 500万円~600万円未満	5.0%	12. 1500万円以上	0.5%

(2) 世帯収入 (1つに)

(N=3,002)

1. 100万円未満	3.7%	7. 600万円~700万円未満	7.9%
2. 100万円~200万円未満	4.5%	8. 700万円~800万円未満	8.0%
3. 200万円~300万円未満	10.7%	9. 800万円~900万円未満	5.8%
4. 300万円~400万円未満	13.1%	10. 900万円~1000万円未満	6.2%
5. 400万円~500万円未満	13.7%	11. 1000万円~1500万円未満	10.5%
6. 500万円~600万円未満	12.5%	12. 1500万円以上	3.3%

日ごろの生活についてお伺いします

Q11 あなたは、日ごろ、気軽に話せる人がいますか。下記それぞれについてお答えください。

(1) 家族に(1つに)

(N=3,002)

1. 気軽に話せる人がいる	84.8%
2. 気軽に話せる人がいない	11.9%
3. 家族はいない	3.3%

(2) 友人・知人に(1つに)

(N=3,002)

1. 気軽に話せる人がいる	76.2%
2. 気軽に話せる人がいない	19.3%
3. 友人・知人はいない	4.5%

(3) 職場に(1つに)

(N=3,002)

1. 気軽に話せる人がいる	39.1%
2. 気軽に話せる人がいない	25.7%
3. 働いていない	35.2%

(4) となり近所に (1つに)

(N=3,002)

- | | |
|-------------------|-------|
| 1. 気軽に話せる人がいる | 29.5% |
| 2. 気軽に話せる人がいない | 41.5% |
| 3. となり近所との付き合いがない | 28.9% |

(5) ネット上に (1つに)

(N=3,002)

- | | |
|----------------|-------|
| 1. 気軽に話せる人がいる | 18.5% |
| 2. 気軽に話せる人がいない | 64.7% |
| 3. ネットをやっていない | 16.8% |

Q12 あなたは、現在、仕事や学校以外に地域などで何か活動に参加していますか。参加している方はあてはまる活動をお選びください。(いくつでも)。参加していない方は11をお選びください。

(N=3,002)

- | | |
|-----------------------------|-------|
| 1. 自治会や町内会、商店会などの地域活動 | 14.3% |
| 2. 保育園・幼稚園の保護者会、学校のPTA活動 | 7.4% |
| 3. 子ども会やスポーツチームの指導や世話 | 3.5% |
| 4. お祭りや運動会などのレクリエーションの活動 | 4.2% |
| 5. 老人クラブや女性団体等の活動 | 2.0% |
| 6. 高齢者や障害者の介護・介助などのボランティア活動 | 1.8% |
| 7. 趣味やスポーツの活動 | 22.6% |
| 8. 勉強会や研究会 | 6.1% |
| 9. 環境問題、消費者問題、リサイクルなどの市民活動 | 2.1% |
| 10. その他(具体的に) | 2.2% |
| 11. とくにない | 57.6% |

Q12-1 Q12で「1から10」と答えた人に。

それらの活動はどのくらいの頻度で参加していますか。複数の活動に参加している場合は合計でお答えください。(1つに)

(n=1,273)

- | | |
|-------------------|-------|
| 1. 週に3、4回以上参加している | 10.4% |
| 2. 週に1回程度参加している | 29.6% |
| 3. 2週間に1回程度参加している | 13.4% |
| 4. 月に1回程度参加している | 23.1% |
| 5. 年に数回程度参加している | 22.7% |
| 6. その他(具体的に) | 0.8% |

Q13 あなたは現在、どのようなことに関心がありますか。(いくつでも)

(N=3,002)

1. 政治、経済(国内外の政治、経済、景気動向など)	44.6%
2. 社会問題(環境問題、消費者問題、高齢者福祉、犯罪など社会問題全般)	40.7%
3. ボランティア活動、社会貢献など	14.4%
4. 仕事、働き方(就職、転職、資格など)	37.6%
5. 健康、医療(健康法、病気、ストレス、メンタルヘルスなど)	57.7%
6. 家庭生活(食、住まい、ペット、防災、防犯など)	45.2%
7. 育児、教育(育児、子育て、教育など)	20.3%
8. 生き方・暮らし方(将来の生活設計、生きがい、老後、墓、美容、痩身など)	47.1%
9. 趣味、スポーツ、娯楽(音楽、美術、教養、運動、ファッション、グルメなど)	66.4%
10. 家計(消費生活、年金、貯蓄・財産管理、遺言・相続など)	44.9%
11. 人間関係(男女、友人、職場、近隣、コミュニケーションなど)	29.0%
12. その他(具体的に)	0.7%
13. 特にない	6.4%

Q14 あなたは、それらの情報をどのようなものからお知りになっていますか。(いくつでも)

(N=3,002)

1. 新聞、雑誌、本など	68.3%
2. 広報紙など	17.3%
3. ミニコミ紙、チラシ、パンフレットなど	12.6%
4. テレビ、ラジオ、ビデオなど	59.6%
5. インターネット	80.9%
6. 講座や勉強会など	9.2%
7. 家族、親戚	38.5%
8. 友人、知人	47.0%
9. 公的機関	8.6%
10. NPO や民間の団体、企業	3.8%
11. その他(具体的に :)	0.1%
12. とくにない	5.6%

Q15 あなたは、日ごろストレスを感じていますか。(1つに)

(N=3,002)

1. 感じている	27.7%
2. どちらかというと感じている	40.6%
3. どちらかというと感じていない	26.3%
4. 感じていない	5.4%

Q15-1 Q15で「1」、「2」と答えた人に。
どのようなことでストレスを感じますか。

悩みや困りごとと解決方法についておたずねします

Q16 あなたはこの1年間に、悩みや困りごとがありましたか。(1つに)

(N=3,002)

- | | | |
|---------|-----|-------|
| 1. あった | | 79.9% |
| 2. なかった | Q9へ | 20.1% |

Q17 Q16で「1」と答えた人に。どのような悩みや困りごとですか。(いくつでも)
また、最も大きな悩みや困りごとについて をつけてください。(1つに)

(n=2,399)

	悩みや困りごと 全て	最も大きな悩みや 困りごと
1. 仕事、雇用、転職、再就職、起業など	59.9%	26.0%
2. 進学、進路など	8.3%	1.6%
3. 学習、勉強など	10.3%	1.1%
4. 健康、病気、障害など	50.2%	13.4%
5. メンタルヘルス、ストレスなど	38.8%	5.8%
6. 家計、借金、相続など	41.9%	11.9%
7. 恋愛、結婚、離婚、夫婦の関係など	28.8%	6.6%
8. 妊娠、出産など	7.3%	1.6%
9. 育児、子育て、教育など	20.9%	6.2%
10. 介護、高齢期の住まい方など	14.6%	4.0%
11. セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメントなど	5.0%	0.8%
12. ストーカー、DV など	2.5%	0.3%
13. 家族、親戚との関係や家制度など	26.7%	7.1%
14. 友人、知人との関係や職場の人間関係など	26.8%	5.0%
15. 差別、いじめなど	3.8%	0.3%
16. 生き方、暮らし方など	33.3%	4.3%
17. 性格、容姿など	20.4%	1.7%
18. その他(具体的に)	3.4%	2.5%

Q17-1 Q17で をつけた、最も大きかった悩みや困りごとはどのようなことで
すか。差し支えない範囲でご記入ください。

Q18 Q17で をつけた最も大きかった悩みや困りごとについておたずねします。

(1) その悩みや困りごとを解決するために、次のようなことをしましたか。(いくつでも)

とくに何もしなかった方は、²²に をつけ、その理由をご記入ください。

(2) 行動した人に。それは、悩みや困りごとを解決するために役立ちましたか。(該当する ~ ²¹までそれぞれ1つに)

	(1) 行動	(2) 満足度				
	1 した	1 役に立った	2 どちらかという 役に立った	3 どちらとも いえない	4 どちらかという 役に立たなかった	5 役に立たなかった
(n=2399)						
新聞や雑誌、本、広報紙、パンフレットなどから情報を得た	17.7%	(n=424) 23.1%	40.6%	26.2%	6.6%	3.5%
テレビやラジオ、ビデオ等から情報を得た	8.8%	(n=212) 17.9%	36.3%	33.5%	8.5%	3.8%
インターネットから情報を得た	33.5%	(n=804) 26.5%	38.8%	26.4%	5.2%	3.1%
配偶者(パートナー含む)に相談した、助けを求めた	26.0%	(n=624) 33.8%	36.7%	20.0%	5.1%	4.3%
子どもに相談した、助けを求めた	5.0%	(n=120) 34.2%	37.5%	18.3%	7.5%	2.5%
親きょうだい、親族に相談した、助けを求めた	20.5%	(n=492) 33.7%	33.9%	23.4%	5.1%	3.9%
友人、知人に相談した、助けを求めた	25.8%	(n=618) 32.0%	43.7%	19.1%	3.2%	1.9%
近所の人に相談した、助けを求めた	1.9%	(n=45) 24.4%	37.8%	35.6%	0.0%	2.2%
講座や勉強会で学習した	3.8%	(n=90) 42.2%	38.9%	14.4%	4.4%	0.0%
同じ悩みを抱える人のグループに入った	1.3%	(n=30) 43.3%	33.3%	23.3%	0.0%	0.0%
同じ悩みを抱える仲間と集ってグループをつくった	0.8%	(n=19) 42.1%	31.6%	21.1%	5.3%	0.0%
既存のサービスを利用した	4.0%	(n=97) 32.0%	36.1%	11.3%	15.5%	5.2%
保育所、学校、かかりつけ医、介護施設など日ごろ接している機関に相談した、助けを求めた	5.4%	(n=130) 42.3%	35.4%	16.9%	3.1%	2.3%
民生委員、児童委員、人権擁護委員などの相談援助職に相談した	0.5%	(n=13) 38.5%	30.8%	7.7%	15.4%	7.7%

	(1) 行動	(2) 満足度				
	1 した	1 役に立った	2 どちらかという 役に立った	3 どちらとも いえない	4 どちらかという 役に立たなかった	5 役に立たなかった
弁護士、カウンセラーなど資格をもった専門家に相談した	3.9%	(n=94) 47.9%	26.6%	9.6%	8.5%	7.4%
市区町村の役所の窓口で相談した	2.4%	(n=57) 22.8%	28.1%	28.1%	5.3%	15.8%
保健所・保健センターで相談した	0.8%	(n=19) 26.3%	31.6%	10.5%	15.8%	15.8%
男女共同参画センターで相談した	0.1%	(n=3) 66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
その他の公的な相談機関や専門機関で相談した	2.8%	(n=68) 30.9%	29.4%	19.1%	11.8%	8.8%
NPO や民間の団体、企業などが設置している相談機関で相談した	0.5%	(n=11) 36.4%	18.2%	36.4%	0.0%	9.1%
21 その他（具体的に ）	7.5%	(n=181) 40.3%	28.2%	21.5%	4.4%	5.5%
22 何もしていない	24.8%					

Q19 あなたは、これまで悩みや困りごとを解決できずに、ひとりで抱え込んだことがありますか。(1つに)

(N=3,002)

- 1 . ある 63.2%
 2 . ない Q13 へ 36.8%

Q20 Q19で「1ある」と答えた人に。

それはどのような悩みや困りごとでしたか。(いくつでも)

(N=1,897)

1. 仕事、雇用、転職、再就職、起業など	46.1%
2. 進学、進路など	8.1%
3. 学習、勉強など	5.5%
4. 健康、病気、障害など	26.1%
5. メンタルヘルス、ストレスなど	22.5%
6. 家計、借金、相続など	22.4%
7. 恋愛、結婚、離婚、夫婦の関係など	29.5%
8. 妊娠、出産など	3.5%
9. 育児、子育て、教育など	10.3%
10. 介護、高齢期の住まい方など	7.1%
11. セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメントなど	4.2%
12. ストーカー、DV など	2.6%
13. 家族、親戚との関係や家制度など	18.8%
14. 友人、知人との関係や職場の人間関係など	20.5%
15. 差別、いじめなど	8.0%
16. 生き方、暮らし方など	17.8%
17. 性格、容姿など	11.5%
18. その他(具体的に)	1.5%

Q21 Q19で「1ある」と答えた人に。

ひとりで抱え込んだのはなぜですか。(いくつでも)

(n=1,897)

1. 相談するほどのことではないと思ったから	20.1%
2. 自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから	43.2%
3. 相談しても解決できないと思ったから	58.5%
4. 解決しようという気持ちになれなかったから	5.0%
5. 人に打ち明けることに抵抗があったから	38.2%
6. 世間体が悪いから	6.2%
7. 他人を巻き込みたくなかったから	16.0%
8. どこ(だれ)に相談してよいかわからなかったから	12.0%
9. 相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから	9.0%
10. 相談相手から秘密がもれるおそれがあったから	9.8%
11. お金をかけたくなかったから	3.5%
12. その他(具体的に)	3.6%

Q22 Q19で「1 ある」と答えた人に。

そのときどのような解決手段があればよいと思いましたか。(いくつでも)

(n=1,897)

1. 情報	33.1%
2. 話し相手	34.3%
3. 同じような悩みをもった人同士が語れる場	31.0%
4. 気軽に相談できる制度やサービス	26.0%
5. 自分かわりに動いてくれるサービス	8.3%
6. 専門家等による仲介・仲裁	12.0%
7. 相談窓口への同行支援	4.7%
8. その他(具体的に)	9.6%

Q23 全員に。

あなたは、悩みや困りごとがあったときに、どのような解決方法があればよいと思えますか。

(1) 相談方法(いくつでも)

(N=3,002)

1. パソコンによるインターネットの相談	66.6%
2. 携帯電話によるインターネットの相談	9.6%
3. 電話相談	33.2%
4. 面接相談	25.0%
5. 相談員が相談者宅に訪問する訪問相談	8.8%
6. その他(具体的に)	8.4%

(2) 支援内容(いくつでも)

(N=3,002)

1. 解決するために必要な情報を提供してくれる	56.0%
2. 同じ悩みをもった当事者同士が集い、語り、情報を分かち合う	21.5%
3. 同じ悩みをもった体験者が相談、情報を提供してくれる	28.9%
4. 話し相手、話を聞いてくれる人がいる	32.5%
5. 1か所でさまざまな問題を相談できる	15.3%
6. 専門家が問題を整理し、解決に向けた行動を考えてくれる	28.9%
7. お金をかけずに相談できる	44.1%
8. 時間をかけずに相談できる	20.5%
9. 自分の好きなときに相談できる	43.5%
10. 匿名で相談できる	45.9%
11. 自宅にいながらにして相談できる	36.7%
12. 学習機会を提供してくれる	6.1%
13. その他(具体的に :)	2.8%

Q24 あなたは、悩みや困りごとなどを解決するために、情報収集・相談・助けを求めることができる機関・人としてどのようなものを思いうかべますか。(いくつでも)

(N=3,002)

1. 区市町村の役所の窓口	23.8%
2. 男女共同参画センター	3.8%
3. 配偶者暴力相談支援センター	4.2%
4. 病院・医師・カウンセラー	28.9%
5. 保健所・保健センター	11.2%
6. 子育て支援センター	13.7%
7. 児童相談所	9.8%
8. 育機関・教育センター	4.8%
9. 福祉事務所	10.9%
10. 地域包括支援センター	5.0%
11. 労働局(総合労働相談コーナー、ハローワーク、労働基準監督署、雇用均等室)	9.2%
12. 社会保険事務所・社会保険労務士	3.1%
13. 労働組合	3.3%
14. 町内会・自治会	1.6%
15. 民生委員・児童委員、人権擁護委員	10.5%
16. 警察	11.6%
17. 弁護士、裁判所	22.1%
18. 税務署・税理士	4.1%
19. 金融機関・ファイナンシャルプランナー	3.8%
20. 結婚相談所	1.7%
21. いのちの電話	15.4%
22. 民間企業・団体の相談窓口	5.6%
23. 当事者団体	3.3%
24. 支援者団体	6.0%
25. 図書館、公民館、生涯学習センター	3.9%
26. インターネットの相談サイト	30.4%
27. その他(具体的に)	2.2%
28. 特にない	25.1%

Q25 (1) あなたは、悩みや困りごとなどを解決するために、次にあげる機関、人を利用したことがありますか。(いくつでも)

(2) 利用したことのある人に。そこでの相談や情報は、悩みや困りごとを解決するために役立ちましたか。(該当する ~ 26 までそれぞれ1つに)

	(1) 利用 1 利用 した こと が あ る	(2) 満足度				
		1 役 に 立 つ た	2 ど ち ら か と い う と 役 に 立 つ た	3 ど ち ら と も い え な い	4 ど ち ら か と い つ と 役 に 立 た な か つ た	5 役 に 立 た な か つ た
(N=3,002)						
区市町村の役所の窓口	8.3%	(n=249) 25.7%	34.1%	17.3%	10.4%	12.4%
男女共同参画センター	0.4%	(n= 13) 30.8%	7.7%	46.2%	0.0%	15.4%
配偶者暴力相談支援センター	0.4%	(n= 13) 15.4%	30.8%	30.8%	0.0%	23.1%
病院・医師・カウンセラー	11.0%	(n= 329) 43.2%	36.8%	11.9%	5.8%	2.4%
保健所・保健センター	2.6%	(n= 79) 22.8%	44.3%	15.2%	11.4%	6.3%
子育て支援センター	2.2%	(n= 65) 29.2%	43.1%	23.1%	3.1%	1.5%
児童相談所	1.0%	(n= 29) 24.1%	31.0%	17.2%	13.8%	13.8%
教育機関・教育センター	1.3%	(n= 38) 42.1%	26.3%	10.5%	5.3%	15.8%
福祉事務所	1.7%	(n= 51) 33.3%	39.2%	13.7%	7.8%	5.9%
地域包括支援センター	0.9%	(n= 27) 33.3%	37.0%	18.5%	3.7%	7.4%
労働局(総合労働相談コーナー、ハローワーク、労働基準監督署、雇用均等室)	3.4%	(n=102) 22.5%	28.4%	23.5%	14.7%	10.8%
社会保険事務所・社会保険労務士	0.9%	(n= 26) 34.6%	30.8%	15.4%	11.5%	7.7%
労働組合	0.9%	(n= 26) 38.5%	26.9%	23.1%	11.5%	0.0%
町内会・自治会	0.3%	(n= 10) 10.0%	10.0%	70.0%	0.0%	10.0%
民生委員・児童委員、人権擁護委員	1.2%	(n= 35) 17.1%	31.4%	31.4%	8.6%	11.4%

	(1) 利用	(2) 満足度				
		1 役に立った	2 どちらかという 役に立った	3 どちらとも いえない	4 どちらかという 役に立たなかった	5 役に立たなかった
警察	3.7%	(n= 110) 16.4%	26.4%	24.5%	14.5%	18.2%
弁護士、裁判所	7.0%	(n= 211) 45.0%	34.6%	9.5%	4.3%	6.6%
税務署・税理士	1.6%	(n= 47) 40.4%	36.2%	17.0%	6.4%	0.0%
金融機関・ファイナンシャルプランナー	1.0%	(n= 30) 40.0%	50.0%	3.3%	3.3%	3.3%
結婚相談所	0.3%	(n= 8) 0.0%	25.0%	37.5%	12.5%	25.0%
21 いのちの電話	0.6%	(n= 19) 26.3%	36.8%	5.3%	5.3%	26.3%
22 21 民間企業・団体の相談窓口	0.7%	(n= 21) 33.3%	28.6%	28.6%	4.8%	4.8%
23 当事者団体	0.5%	(n= 15) 53.3%	6.7%	26.7%	0.0%	13.3%
24 支援者団体	0.5%	(n= 15) 26.7%	46.7%	20.0%	0.0%	6.7%
25 図書館、公民館、生涯学習センター	1.8%	(n= 55) 29.1%	54.5%	16.4%	0.0%	0.0%
26 インターネットの相談サイト	7.8%	(n= 235) 23.8%	48.5%	20.4%	5.5%	1.7%
27 その他（具体的に）	1.4%	(n= 43) 58.1%	16.3%	9.3%	11.6%	4.7%
28 利用したものはない	65.6%					

Q26 悩みや困りごとがあったときの解決方法や情報、相談機関等についてご意見、ご要望などがありましたら、どのようなことでも結構ですので自由に記入してください。

男女共同参画センターについてお伺いします

男女共同参画センターは、男女共同参画社会の実現に向けての活動拠点です。各地には「サンフォルテ」(富山県)や「ドーンセンター」(大阪府)、「ムーブ」(北九州市)などさまざまな愛称で男女共同参画センターが設置され、親しまれています。主な事業は、情報の収集・提供、相談、講座等の学習、交流、市民の活動支援です。

Q27 あなたは、居住地における男女共同参画センターを知っていますか。(1つに)
(N=3,002)

1. 知っている	Q28へ	9.9%
2. 名前は聞いたことがある	Q29へ	28.7%
3. 知らない	Q29へ	61.4%

Q28 Q27で「1」と答えた人に。
センターで行っている次のサービスを利用したことがありますか。(から まで
それぞれ1つに)

	1 利用 した こと があ る	2 利用 しな い
(n=297)		
講座やセミナーの受講	26.3%	73.7%
図書や資料の利用	23.9%	76.1%
相談窓口の利用	7.4%	92.6%
グループや市民・区民の交流	14.8%	85.2%
調査や研究、市民活動に対する助成の利用	6.4%	93.6%

Q29 あなたは、男女共同参画センターについてどのような機能を利用したいと思いますか。(いくつでも)

(N=3,002)

1. 男女共同参画社会づくりに関する講座や情報提供	12.8%
2. 生き方、暮らし、仕事、子育てなど様々な課題解決に役立つ講座や情報提供	35.8%
3. ワーク・ライフ・バランス(仕事と家庭の両立)に関する講座や情報提供	15.6%
4. ドメスティック・バイオレンスに関する講座や情報提供	4.0%
5. 電話、面接、インターネットによる悩み相談	21.9%
6. 弁護士や医師などの専門家による相談	20.9%
7. 男性のための講座や悩み相談	6.5%
8. 同じ悩みをもつ当事者同士の仲間づくりへの支援	16.9%
9. 地域のいろいろなグループとの情報交換や交流	10.7%
10. 子育て中の親子や子どもの交流	12.3%
11. 再就職や起業などへの支援	17.8%
12. 個人の経験や知識などを社会に還元することへの支援	10.8%
13. イベントや会議、交流などさまざまな活動のためのスペース等の提供	9.8%
14. その他(具体的に)	11.5%

Q30 あなたが、悩みや困りごとを解決するために男女共同参画センターを利用するとしたら、それはどのようなことですか。ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました

3 支援者調査 調査票

地域での生活課題と相談に関する調査

ご回答くださったあなたのことをおたずねします

問1 あなたの性別についておたずねします。(は1つ)

(N=402)

1. 男性 39.1% 2. 女性 60.4% 無回答 0.5%

問2 あなたの年代についておたずねします。(は1つ)

(N=402)

1. 20 歳代以下	4.2%	4. 50 歳代	17.2%
2. 30 歳代	13.9%	5. 60 歳代	30.3%
3. 40 歳代	14.4%	6. 70 歳代以上	19.4%
		無回答	0.5%

問3 あなたが現在、主として活動している都道府県についておたずねします。(都道府県名を記入)

都・道・府・県

問4 あなたは現在、主として、どのような活動もしくは活動機関に所属をされていますか。(は1つ)

(N=402)

1. 民生委員・児童委員として活動	37.8%
2. 人権擁護委員・権利擁護委員・オンブズパーソンとして活動	8.0%
3. 人権推進センター等相談機関に所属	0.0%
4. 行政相談員として活動	2.0%
5. 福祉系相談機関(高齢、障害、子育て支援関連)に所属	21.4%
6. 保健・医療系相談機関(保健所、保健センター関連)に所属	11.2%
7. 医療機関に所属	4.7%
8. 学校(小学校、中学校、高校、大学、専門学校等)に所属	3.2%
9. 民間専門相談機関(いのちの電話、フェミニストカウンセリング等)に所属	0.2%
10. 企業・団体の相談室に所属	1.2%
11. 就労支援に関する機関・団体に所属	1.0%
12. その他〔具体的に： 〕	8.7%
無回答	0.5%

問5 あなたが現在おもちの相談に関する資格はつぎのどれですか。(はいくつでも)

(N=402)

1. 社会福祉士	23.4%	9. 臨床心理士	6.5%
2. 介護福祉士	11.2%	10. 中小企業診断士	0.0%
3. 精神保健福祉士	6.2%	11. 社会保険労務士	0.5%
4. 介護支援専門員	17.9%	12. 産業カウンセラー	1.0%
5. 保健師	11.2%	13. その他の認定カウンセラー	1.5%
6. 看護師・准看護師	5.0%	14. 弁護士・司法書士・税理士・行政書士	1.5%
7. 医師・歯科医師	0.2%	15. その他〔具体的に： 〕	13.2%
8. 薬剤師	0.2%	16. 特にない	38.6%
		無回答	2.0%

問6 あなたの相談業務の経験年数はつぎのどれですか。前職がある方はそれらも含めてお答え下さい。(は1つ)

(N=402)

1. 1年未満	2.0%	5. 10～15年未満	19.9%
2. 1～3年未満	9.7%	6. 15～20年未満	11.9%
3. 3～5年未満	11.2%	7. 20年以上	18.7%
4. 5～10年未満	23.9%	8. 覚えていない	0.0%
		無回答	2.7%

問7 あなたはこの1年間に、相談に関する研修を受けましたか。(は1つ)

(N=402)

1. 受けた	63.9%	2. 受けなかった	34.1%	無回答	2.0%
--------	-------	-----------	-------	-----	------

問7-1 「1. 受けた」と回答した方におたずねします。それはどのような研修でしたか。具体的にお書きください。

相談の状況について

問8 あなたが1ヶ月に受ける相談件数は何件くらいですか。同一の相談者であっても、日時が異なれば1件と数えてお答えください。(は1つ)

(N=402)

1. 10件未満	54.2%	4. 50～70件未満	4.5%
2. 10～30件未満	24.9%	5. 70～100件未満	2.5%
3. 30～50件未満	8.0%	6. 100件以上	3.2%
		無回答	2.7%

問9 この1年間であなたが担当する相談件数は増えていますか。(は1つ)

(N=402)

1. 増えている	43.5%	2. 減っている	5.2%	3. 変わらない	44.0%
4. わからない	5.2%	無回答			2.0%

問10 あなたが受けている相談は誰からのものが多いですか。

(1) 性別ではどちらが多いですか。(は1つ)

(N=402)

1. 女性が多い	61.7%	2. 男性が多い	4.5%	3. どちらともいえない	32.6%
		無回答			1.2%

(2) どの年代が多いですか。(は2つまで)

(N=402)

1. 10代未満が多い	1.0%	6. 50代が多い	15.7%
2. 10代が多い	4.0%	7. 60代が多い	25.4%
3. 20代が多い	11.2%	8. 70代が多い	38.8%
4. 30代が多い	19.2%	9. 80代以上が多い	20.1%
5. 40代が多い	13.9%	10. 年代での特徴はない	10.0%
		無回答	1.2%

(3) 最初に相談に来るのは、どのような立場の人が多いですか。(は2つまで)

(N=402)

1. 本人	64.2%	6. 職場の上司・同僚	1.5%
2. 家族	57.2%	7. 専門機関	7.7%
3. 友人・知人	3.2%	8. 行政	4.5%
4. 近所の人	14.2%	9. その他〔具体的に: 〕	3.7%
5. 保育園の保育士や幼稚園・ 学校の先生	3.5%	無回答	1.2%

問11 あなたはどのような形態の相談を行っていますか。(はいくつでも)

(N=402)

1. 電話による相談	63.7%
2. 面接による相談	73.9%
3. グループでのワークショップ・グループカウンセリング	5.7%
4. 訪問相談	56.7%
5. インターネット等での相談	1.7%
6. その他〔具体的に： 〕	2.0%
無回答	1.0%

問12 あなたが担当している(多い)相談はどのような内容ですか。また、来ない(少ない)相談はどのような内容ですか。((1)(2)それぞれ3つまで数字を記入)

(N=402)

	(1) 多い 相談内容	(2) 少ない 相談内容
1. 仕事、雇用、転職、再就職、起業等	13.7%	19.9%
2. 進学、進路等	4.0%	38.3%
3. 学習、勉強等	3.2%	33.6%
4. 健康、病気、障害等	60.9%	0.2%
5. メンタルヘルス、ストレス等	17.9%	1.5%
6. 家計、借金、相続等	15.4%	12.2%
7. 恋愛、結婚、離婚、夫婦の関係等	7.0%	15.2%
8. 妊娠、出産等	4.7%	34.8%
9. 育児、子育て、教育等	29.4%	13.2%
10. 介護、高齢期の住まい方等	56.7%	8.7%
11. セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント等	1.5%	16.7%
12. DV、ストーカー等、女性への暴力	5.2%	8.2%
13. 家族、親戚との関係や家制度等	17.4%	4.0%
14. 友人、知人との関係や職場の人間関係等	9.0%	6.2%
15. 差別、いじめ等	4.2%	10.2%
16. 生き方、暮らし方等	18.7%	9.2%
17. 性格、容姿等	0.5%	38.1%
18. その他〔具体的に： 〕	6.5%	0.2%
無回答	2.5%	8.0%

問13 あなたは相談を受けたあと、どのような対応・支援をすることが多いですか。
(はいくつでも)

(N=402)

1. カウンセリング、グループワーク、ワークショップなど心理的支援を	13.2%
2. 相談者の話を傾聴して励ます	64.9%
3. 問題の解決に応じた専門機関を紹介する	75.1%
4. 自助グループを紹介する	9.5%
5. 他機関と連携しながら、具体的な問題の解決まで支援する	52.0%
6. その他〔具体的に：	〕 3.5%
無回答	2.5%

問 13-1 「3. 専門機関を紹介する」と回答した方におたずねします。

どのような専門機関を紹介することが多いですか。(はいくつでも)

(n=302)

1. 行政の専門相談機関を紹介する	88.1%
2. 民間の専門相談機関を紹介する	39.4%
3. 法律等の専門家を紹介する	27.5%
4. 警察を紹介する	18.9%
5. その他〔具体的に：	〕 10.6%
無回答	0.3%

問14 現在相談に来ている方はどのような経路で来られた方ですか。(はいくつでも)

(N=402)

1. 知人から紹介されて	45.3%
2. 民間機関の紹介で	25.9%
3. 行政機関からの紹介で	50.5%
4. 自治体の広報誌を見て	26.6%
5. 相談機関のホームページを見て	9.7%
6. 相談機関のパンフレット、チラシ、ニュースレターを見て	20.4%
7. インターネットで探して	8.2%
8. テレビ、新聞、雑誌などを見て	3.2%
9. その他〔具体的に：	〕 22.1%
無回答	6.5%

問15 現在相談に来ている方は、どのようなことを望んで来られた方ですか。

(はいくつでも)

(N=402)

1. 解決するために必要な情報を提供してほしい	71.9%
2. 同じ悩みをもった人の解決方法を集めた事例を知りたい	5.5%
3. 同じ悩みをもった人と話し合いたい	6.7%
4. 話し相手、話を聞いてくれる人がほしい	59.5%
5. 解決の方法を一緒に考えてほしい	63.7%
6. 自分に代わって解決してほしい	16.2%
7. 新しい考え方や視点を得たい	15.4%
8. 自分の悩みごとが、他に支援を求めるに値するかどうか知りたい	8.0%
9. その他〔具体的に： 〕	3.7%
10. わからない	1.2%
無回答	4.5%

問16 あなたが相談を受けていて、困ったことはどのようなことですか。

(はいくつでも)

(N=402)

1. 解決するための制度やサービスがない	36.6%
2. 課題が複合的で解決の難しい相談が多い	42.8%
3. 本人やその家族に、課題に対する解決意欲が乏しい	43.0%
4. 解決に向けてネットワークできる地域資源が少ない	19.7%
5. 地域資源はあってもネットワークができていない	11.4%
6. 時間的、人的に、忙しすぎて十分に対応できない	21.1%
7. 自分自身に課題を解決する十分な知識やスキル、経験が不足している	31.6%
8. 自分の他に意見を聞ける相談員がいないため、ストレスを感じてしまう	6.0%
9. その他〔具体的に： 〕	3.5%
10. 困ったことは特にない	11.9%
無回答	3.0%

問17 この1年間で対応が困難な相談事例がありましたら、お差し支えのない範囲でお書きください。

生活課題を抱えながらも、相談しない・相談できない人について

問19 あなたは日頃の相談活動を通して、『実際には生活課題をかかえながらも、相談しない・相談できない人』がどのくらいいると思いますか。(は1つ)

(N=402)

1. たくさんいる	42.3%	3. ほとんどいない	3.5%
2. いる	38.1%	4. わからない	14.7%
		無回答	1.5%

問 19-1 「1.たくさんいる」「2.いる」と回答した方におたずねします。『相談しない・相談できない』方は、どのような人ですか。またどのような生活課題を抱えていると思いますか。お差し支えない範囲でお書きください。(事例やご意見など、何でも結構です)

<例> 母子家庭の母親が生計維持の困難を抱えている、夫からの暴力を受けている

問 19-2 「1.たくさんいる」「2.いる」と回答した方におたずねします。『生活課題を抱えながらも相談しない・相談できない人』がいるのはなぜだと思いますか。(はいくつでも)

(n=323)

1. 本人や家族が相談の必要性を感じていないから	45.2%
2. 障害や認知症等、判断に困難をともなう人の生活課題が増えたから	43.7%
3. プライバシーの意識が過剰に高まったから	32.2%
4. 近所の人や友人に知られたくないから	61.0%
5. 閉じこもりや相談支援を拒否する人が増えたから	33.7%
6. 解決ができないと思い込んで、最初から諦めている人が多いから	49.8%
7. 近隣コミュニティへの関心が薄れたから	25.4%
8. 相談先がわからない人が多いから	62.2%
9. 既存の相談の場所にいけない、時間帯に間に合わない人が多いから	18.6%
10. 相談窓口の利用者が多すぎて、利用したくてもつながらないから	3.1%
11. 相談のときに利用できる介助サービス、託児サービスがないから	8.0%
12. 潜在的な生活課題をキャッチできる体制がとれないから	25.4%
13. 生活課題をキャッチしても支援につながらないから	19.2%
14. その他〔具体的に： 〕	3.4%
無回答	0.6%

問20 全員の方におたずねします。さまざまな生活課題に対応していくためには、これからのようなことが必要だと思いますか。(は4つまで)

(N=402)

【形態・形式】	1. 相談の対象、テーマ、時間帯や利用条件などを広げる・絞るなど工夫する	16.7%
	2. 保育つきの相談、相談回数の工夫など相談に来る人の状況に配慮する	12.2%
	3. 地域に出て行くようなきめの細かい相談活動を増やす	40.8%
	4. 当事者同士の相談など新しい相談のしくみをつくる	12.2%
【体制・組織】	5. 相談に関する広報やPRを充実する	29.6%
	6. 幅広い相談を受けて解決するワンストップ・サービスを充実する	19.7%
	7. 相談機関同士のネットワークを充実させる	28.1%
【相談員】	8. 相互に連携やネットワークができる社会資源を増やす	27.6%
	9. 相談に対応する技術を向上させるための研修を増やす	24.4%
	10. 当事者を支援するための知識や情報を増やす	24.9%
	11. 相談員同士のネットワークを広げる	24.6%
	12. 相談員の心の健康を保つ(燃え尽き症候群の防止など)支援をする	12.7%
【地域社会】	13. 地域住民がつね日ごろから支えあう意識を増やす	50.7%
	14. 男女ともに家庭や職場、地域に参画する機会を増やす	10.7%
	15. 学校や商店・企業などと連携した取組みを増やす	8.7%
	16. 他の専門職やサポーターの確保、育成を図る	10.9%
【全般的に】	17. その他〔具体的に： 〕	1.0%
	無回答	1.7%

男女共同参画センターについて

男女共同参画センターは、男女共同参画社会の実現に向けての活動拠点です。主な事業は、情報の収集・提供、相談、講座等の学習、交流、市民の活動支援であり、男女共同参画の視点に立った各種相談事業を行っています。

問21 あなたは相談業務で男女共同参画センターと連携していますか。(は1つ)

(N=402)

1. 相談業務の紹介先等として連携している	問22へおすすみください	7.7%
2. 相談業務の紹介先等として連携はしていないが、情報交換等している		9.2%
3. ない		79.6%
無回答		3.5%

問23へおすすみください

問22 問21で「1.相談業務の紹介先等として連携している」と回答した方におたずねします。紹介等の内容は、どのようなものですか。(はいくつでも)

(n=31)

1.具体的に生活課題解決のために紹介した	67.7%
2.時間外など、自分のところで相談を受けられないので紹介した	0.0%
3.相談の経過に伴ってカウンセリング・グループカウンセリングを紹介した	9.7%
4.知識や情報を入手できると紹介した	41.9%
5.同じ経験を持つ仲間づくり、グループ、居場所として紹介した	9.7%
6.問題解決のために自らスキルを身につけられると紹介した	6.5%
7.支援チームの一員として一緒に対応した	9.7%
8.その他〔具体的に： 〕	6.5%
無回答	0.0%

問23 全員の方におたずねします。『生活課題を抱えながらも相談しない・相談できない人』のニーズを、相談や生活課題の解決に結びつけるために、男女共同参画センターはこれからどのような機能を充実するとよいと思いますか。(はいくつでも)

(N=402)

1.男女の健康や生活、就労、自立に関する情報提供の充実	37.3%
2.子育てや介護などの問題を考える講座や研修の充実	44.3%
3.電話、面接、インターネットなどさまざまな形式の相談の充実	29.6%
4.弁護士、医師、カウンセラー等の専門家による相談の充実	33.1%
5.地域の相談員に対する男女共同参画の視点からのアドバイス	28.9%
6.行政機関と連携した生活課題の解決のための体制の充実	49.8%
7.民間支援団体と連携した生活課題の解決のための体制の充実	35.1%
8.その他〔具体的に： 〕	3.5%
無回答	5.5%

地域に関する相談ニーズについて日ごろのお考え等をおたずねします

問24 地域での相談活動にあたって日頃からお考えのことや、男女共同参画センターとの連携のアイデアなど、何でも結構ですので自由にお書きください。

- 長時間にわたりありがとうございました -

4 男女共同参画センター調査（抜粋）

男女共同参画センター調査は、国立女性教育会館が内閣府委託調査として実施したものである。ここでは、本調査に関連する調査項目を抜粋し、生活構造研究所が分析・整理した。グラフについては国立女性教育会館の報告書から引用している。

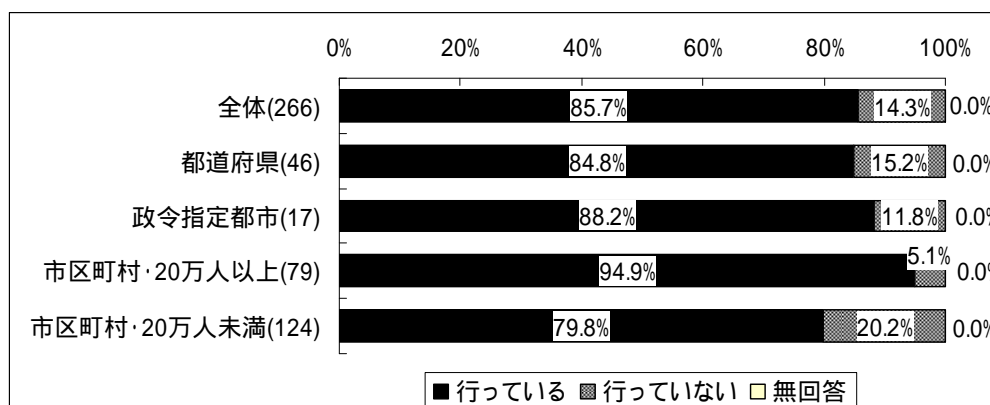
（１）相談の概要

相談事業は、全体では「行っている」が 85.7%、「行っていない」が 14.3%である。

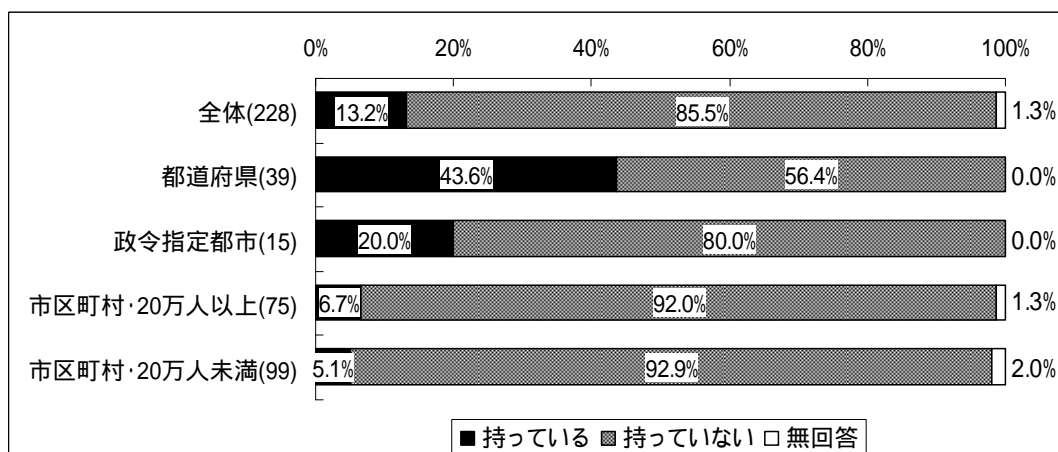
配偶者暴力相談支援センターの機能は、全体では「持っている」が 13.2%、「持っていない」が 85.5%、無回答が 1.3%である。

窓口相談以外の相談事業は、全体では「行っている」が 38.3%、「行っていない」が 49.6%、無回答が 12.0%である。具体的には、例えばグループ相談、専門相談、講座の開催、情報提供、外部機関とのネットワークづくり、相談員の支援などである。

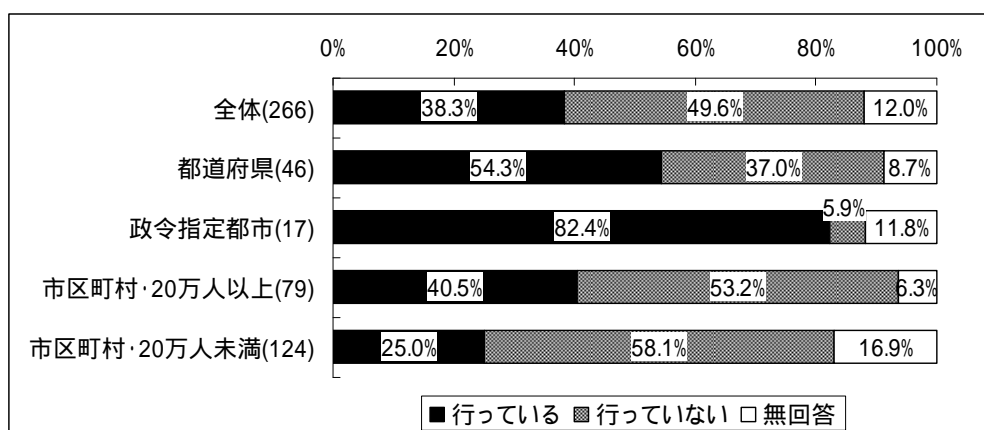
相談事業の有無（全体・設置者別）



配偶者暴力相談支援センターの機能の有無（全体・設置者別）



窓口相談以外の相談事業の有無（全体・設置者別）



窓口での相談以外の相談事業の具体例

グループ相談、自助グループの支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「女性のための創業支援セミナー」時に、「創業チャレンジ相談会」(グループ相談)を実施。 ・ 女性のチャレンジ相談。 ・ グループカウンセリング(ワーク) ・ 自助グループへの支援を実施。 ・ グループプログラムの実施。 ・ 自助グループ支援事業の実施 ・ シングルマザーグループ支援。摂食障家族の会。
専門相談	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法律や体のセミナーの実施。 ・ 弁護士との法律相談日を年間15日 ・ 就労応援フェア開催時の相談事務を別途行っている。 ・ 調査結果を踏まえ、「DVを体験した母子のためのケア・プログラム」を実施。 ・ 男性電話相談。 ・ キッズコーナーに相談員を配置し、子育て中の父母等の利用向上を図る
講座の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミニ講座(相談ニーズから講座を開催する)。H21年度は「こころとからだの健康」をテーマに実施。 ・ 相談内容からわかるニーズ及び傾向を参考としてテーマを設定し、講座を開催。ピア・カウンセリング講座(会場は施設外) ・ 若者の引きこもり、DV防止などの講座を開催。 ・ 相談ニーズから「夫婦関係・離婚をめぐる法律知識」講座を開催。 ・ DVに関する相談の増加に伴い、H20年講座～毛糸のモチーフで編むパープルリボン(女性に対する暴力をなくそう!)への思い～を企画し、タペストリーを作成。引き続きH21年も更にDVに対する思いを込めた2枚目のタペストリーを作成する講座を実施。その後受講生が講師となり、再度パープル(女性に対する暴力防止)とオレンジ(児童虐待防止)のシンボルカラーリボンをデザインした手芸作品を作り、作品を身に付けてDV防止、児童虐待防止の意思表示をする。 ・ シングルマザー応援セミナーの実施 ・ コミュニケーション講座。
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「相談室便り」作成(相談員による相談室の案内):毎月作成 ・ 女性のためのDV情報提供会を実施。
同行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 警察や裁判所をはじめとする関連機関への同行支援。
外部機関とのネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部機関とのケース検討。 ・ 女性の人権に関わる業務に携わる関係機関や専門家との連携を計るネットワーク事業の実施。 ・ 相談員を講師として外部へ派遣。
相談員の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談支援者のための講座の開催。 ・ 現在、相談員あるいは対人援助にたずさわっている人を対象とした学習の機会の提供(メンタルサポーター養成講座)。 ・ 市町村DV被害者担当者等対象の研修会の実施。 ・ 県内市町村の女性問題に関する相談窓口の相談員等を対象とした研修会の実施。 ・ 支援者向け研修会を実施。

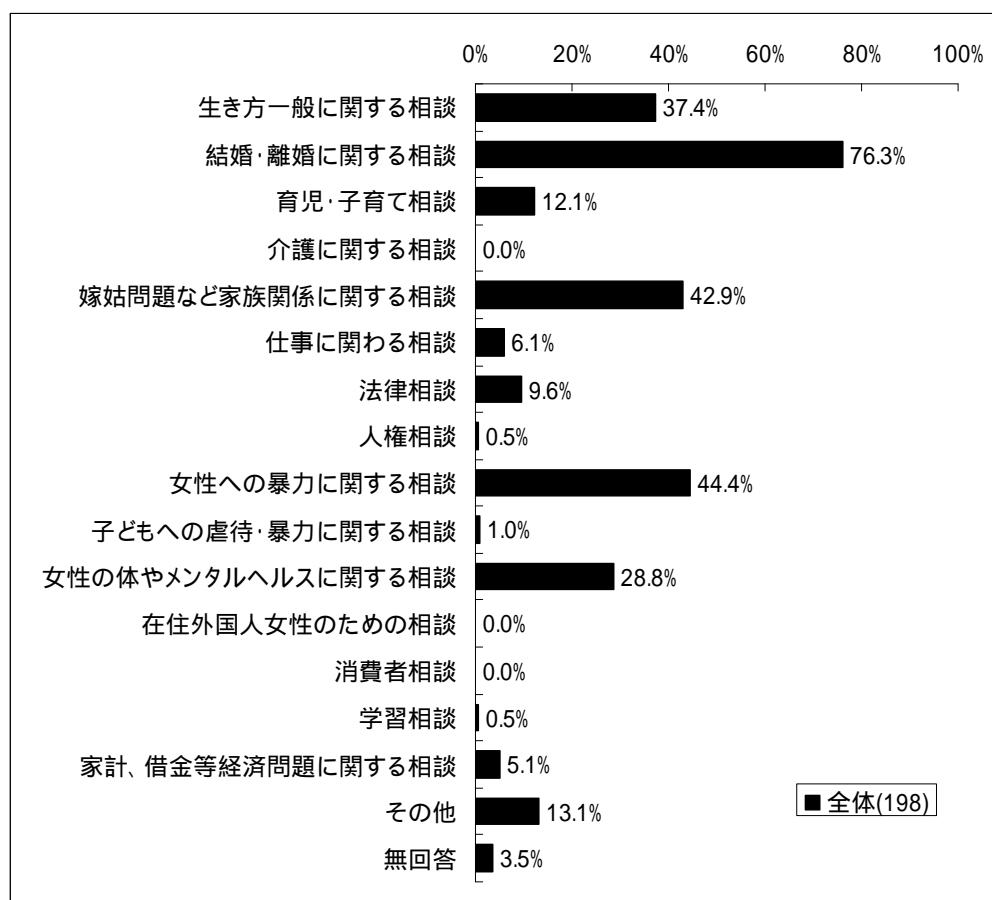
この表は、国立女性教育会館の調査結果をもとに、生活構造研究所が分類・整理を行ったものである。

(2) 相談の多い内容、増えている内容

ア 相談の多い内容

相談のうち件数が多いものは、全体では「結婚・離婚に関する相談(76.3%)」、次いで「女性への暴力に関する相談(44.4%)」、「嫁姑問題など家族関係に関する相談(42.9%)」、「生き方一般に関する相談(37.4%)」、「女性の体やメンタルヘルスに関する相談(28.8%)」と続いている。

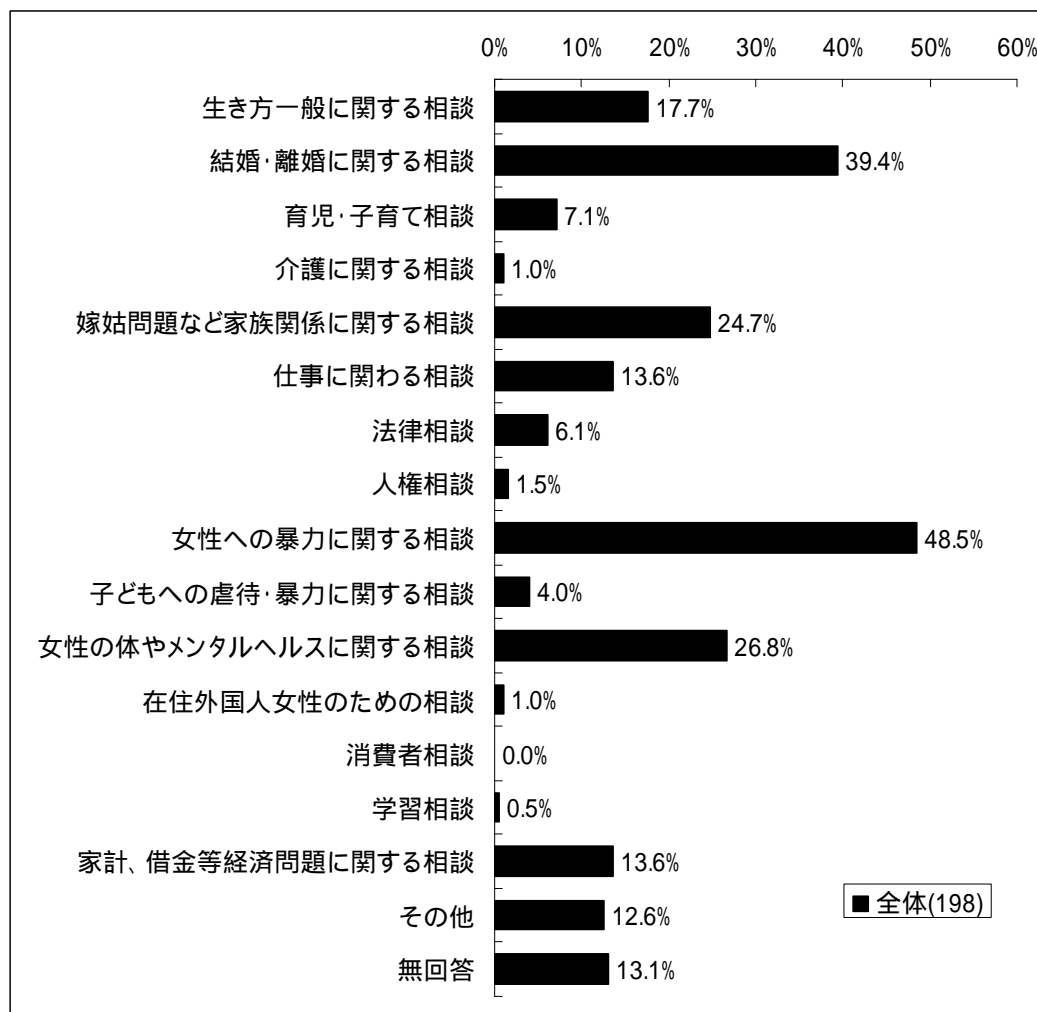
相談の多い内容(全体、3つまで)



イ 1年以内に相談が増えている内容

1年以内に増えている相談内容は、全体では「女性への暴力に関する相談(48.5%)」が最も多く、次いで「結婚・離婚に関する相談(39.4%)」、「女性の体やメンタルヘルスに関する相談(26.8%)」、「嫁姑問題など家族関係に関する相談(24.7%)」、「生き方一般に関する相談(17.7%)」が続いている。

相談が増えている内容(全体、3つまで)

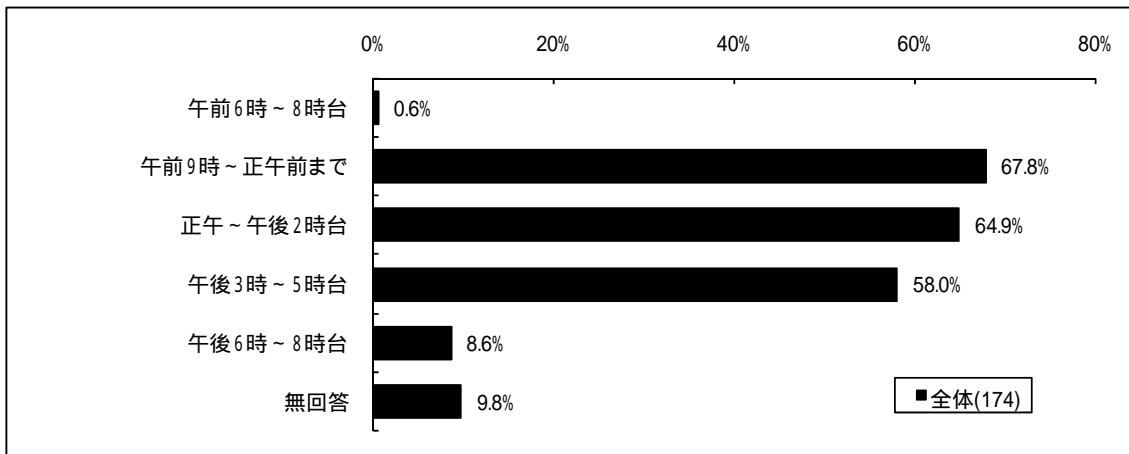


(3) 相談の状況(相談時間、相談の制限、相談の連携先)

ア 電話相談の多い時間帯

電話相談の多い時間帯は、全体では「午前9時～正午前まで(67.8%)」が最も多く、次いで「正午～午後2時台(64.9%)」、「午後3時～5時台(58.0%)」となっている。

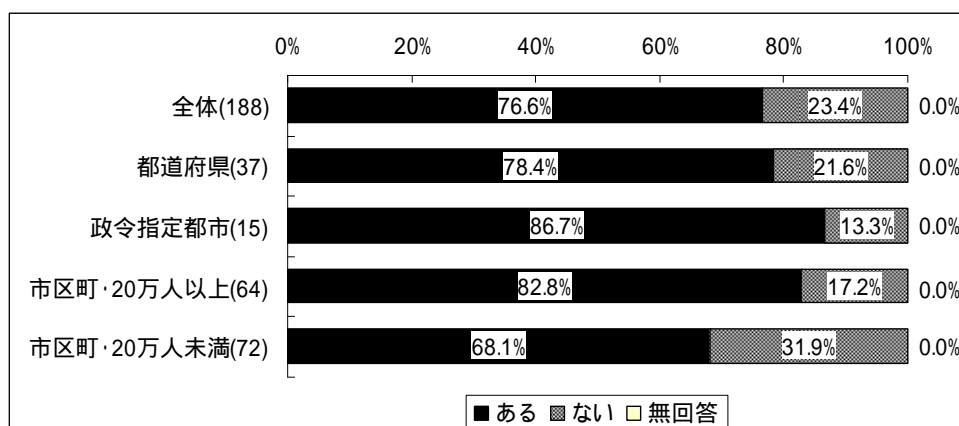
電話相談の多い時間帯(全体、複数回答)



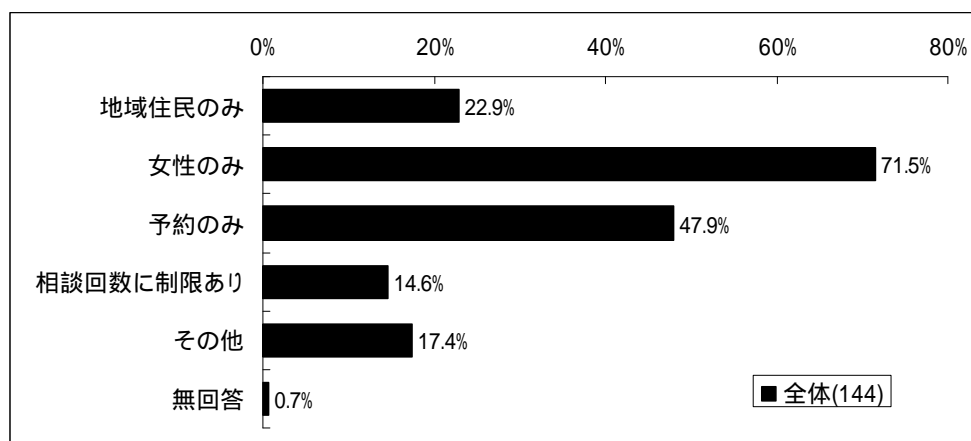
イ 面接相談制限

面接相談の実施にあたりなんらかの制限を設けているセンターは、全体では76.6%となっている。制限の内容は、対象を「女性のみ(71.5%)」とするセンターが最も多く、「予約のみ(47.9%)」、「地域住民のみ(22.9%)」、「相談回数に制限がある(14.6%)」となっている。

面接相談制限の有無(全体、設置者別)



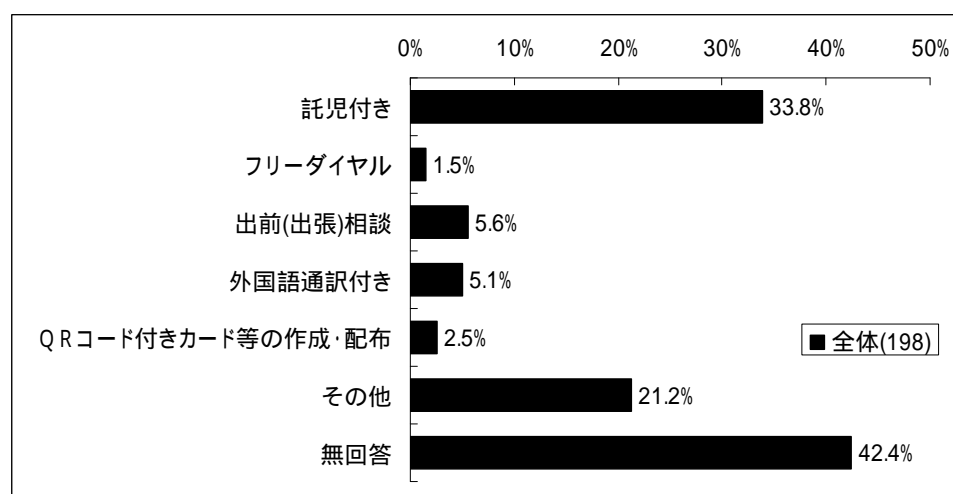
制限の内容（全体）



ウ 相談者が相談しやすくするための工夫

相談者が相談しやすくするための工夫は、全体では「託児つき」が最も多く、33.8%となっている。

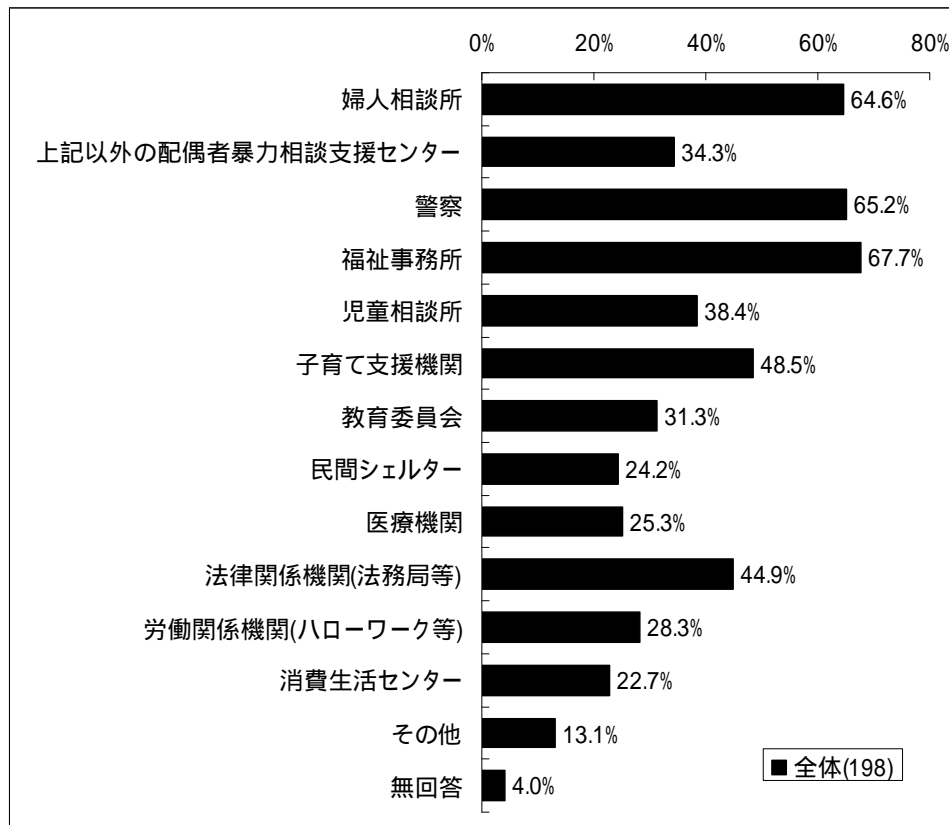
相談しやすくするための工夫（全体、複数回答）



エ 相談の連携先

相談の連携先は、全体では「福祉事務所(67.7%)」、「婦人相談所(64.6%)」、「警察(65.2%)」が多く、これらで6割を超えている。

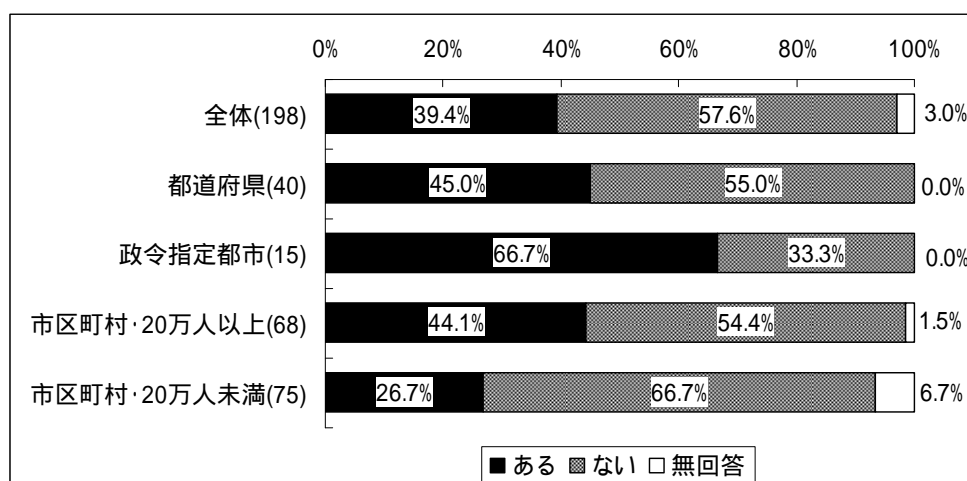
相談の連携先(全体、複数回答)



(4) 相談を事業・施策に活かす仕組み

相談内容を事業・施策に反映する仕組みは、全体では「ない(57.6%)」、「ある(39.4%)」となっている。

相談を事業・施策に活かす仕組み（全体、設置者別）



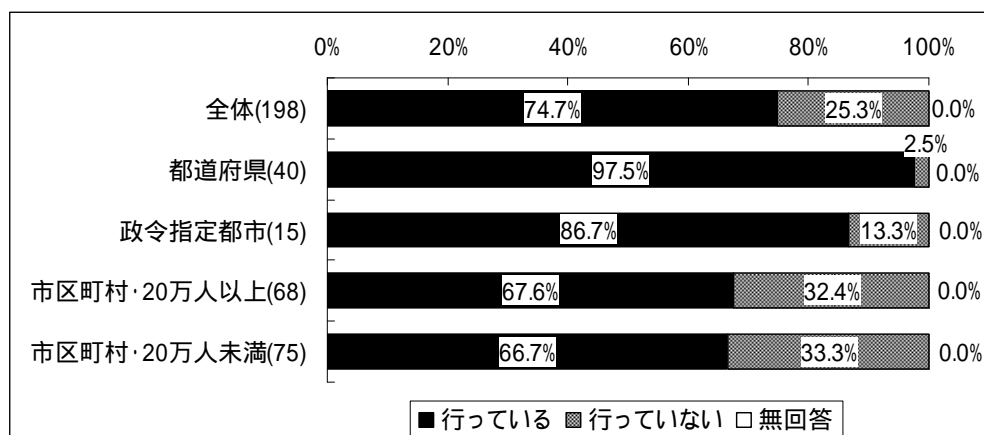
(5) 支援の状況（研修の有無、相談マニュアル）

ア 相談員に対する研修

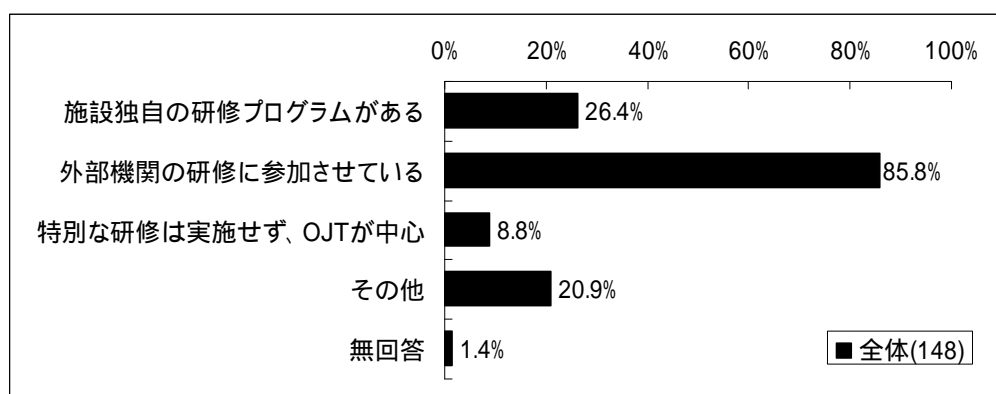
相談員に対する研修は、全体では「行っている(74.7%)」、「行っていない(25.3%)」となっている。

相談員に対する研修の内容は、全体では「外部機関の研修に参加させている(85.8%)」が8割を超え、「独自の研修プログラムがある(26.4%)」は2割台にとどまっている。

相談員に対する研修の有無（全体、設置者別）



相談員に対する研修の内容（全体）



イ 相談員のためのマニュアル

相談員のためのマニュアルは「ない(62.1%)」、「ある(34.8%)」となっている。

相談員のためのマニュアル（全体、設置者別）

